

多様な<体験>と<感動>が 好奇心を育てる！

*

夏イベント体験学習も楽しみながら スキルをマスター

皆さんの地域でも科学実験教室を！



■ 宣伝活動が遅れています！ぜひご支援ください。



★<過密>な7、8月が近づいてきました。どの企画も成功させるために、宣伝活動に力を入れています。

★一昨日も宣伝活動(学校訪問)に行ってきました。今回は初めての小学校(天王寺区・五条小学校・24クラス)にも行きました。3校で2000枚ほど配布しました。(科学の祭典用宣伝)

申し込み状況…去年の半分

新規学校に宣伝を！

★7月23日<第7回法円坂フェスティバル>の申し込み状況ですが、6月21日で94名の申し込み。 去年は、6月21日で定員の200名でした。 去年の半分のペース。遅れているのは間違いありません。★新規の小学校に宣伝すれば定員になると思います。ぜひご支援ください。

★ **Aクラス** (親子20) <ドラで遊ぼう> 20名超えました。(親子で40名)

★ **Bクラス** (40) <ドラ見えない気体> 2名。(昨年・28名)

★ **Cクラス** (30) <ドラ・モクモク> 12名。(昨年・35名)

★ **Dクラス** (30名) <液体窒素で遊ぼう> 5名。(昨年・38名)

★ **Eクラス** (25名) <かがやけ10円玉> 2名。(昨年水の表面・21名)

★Fクラス (25名) <おりぞめ教室> 14名。(昨年・33名)

★Gクラス (15名) <エコカメラ作り> 25名。(昨年・煮干し4名)

★Hクラス (15名) <もしも原子> 14名。(昨年は企画なし)

★A (ドラ園児) G (エコカメラ作り) H (もしも原子) は、締め切りです！
他クラスの参加を呼びかけてください。特に、<ドライアイス関係>。リピーターの子
ども達は、すでに<ドラ実験>を体験しています。★新規の小学校の子ども達へ呼びか
けが必要です。新しい学校の紹介、**どうぞよろしくお願ひします。**

■6月17日 (土) <吹田子ども科学実験教室> 実験講師 (麦倉・高松・佐藤)

実験テーマ **やじろべえでおもしろ実験！<おもりのはたらき>**

子どもたちの評価 (感想文提出44人)

①楽しかったか 5…36人 4…6人 3…2人

②分かったか 5…33人 4…8人 3…2人 2…1人

③子どもたちの感想

*いーっぱい作っていーっぱい書いて楽しかったです。 *おきあがりこぼし最高！
*とんぼがすごい！ *おもりは身近なさまざまなものに使われていると分かった。
単じゅんに見えるやじろべえやおきあがりこぼしには科学がたくさんつまっていたの
に気づいた。 *やじろべえはなんか不思議で、最後に作ったとんぼも楽しくておも
しろかったです。はっぼうスチロールみたいなものがびょうの2つがあったらおき
あがりこぼしが作れると分かって、すごいと思いました。また来たいと思いました。

●<吹田子ども科学実験教室>も人気です。ハードなスケジュールに
なっている講師の皆さん！(佐藤・高松・麦倉) 本当にご苦労様です。

言葉は、<声>

◇「言葉」というのは、覚えたてのころは使うのが楽しくてしょうがないもん
だと思うのです。それは驚異と神秘に満ち溢れているのです。大人になるにし
たがって、それがだんだんつまらない実用品みたいになってくるのです。単なる
命令とか、取引とか、禁止などの道具になってしまう。でも、言葉は本来も
っと豊かなもののはずなんです。言葉は文字じゃなくて、まず「声」なんです。
子ども達は、お母さんをはじめとする周りの大人の声によって、言葉の優しさ、
しなやかさを覚えていくんだから、言葉もまた、愛情のひとつの形式なのです。
◇子ども達は、言葉による触れ合いを、小さな心で切実に求めています。「言
葉による触れ合い」・これこそ子どもの成長にとって欠くことのできない心の
糧であるからです。言葉を通して、お母さんの皮膚のあたたかさをを感じたり、
言葉の肌触りに触れる機会が、決定的に不足しているのではないのでしょうか。

(谷川俊太郎・詩人)

★<一期一会>のイベント。「言葉による触れ合い」も大切にしたい！(音田)